



図1 畑の準備

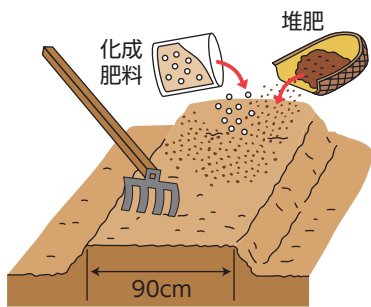


図2 種まき(秋まき)

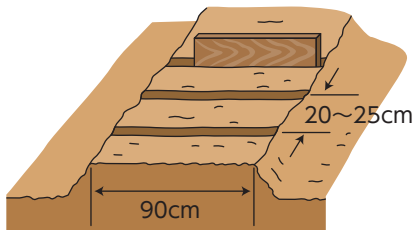
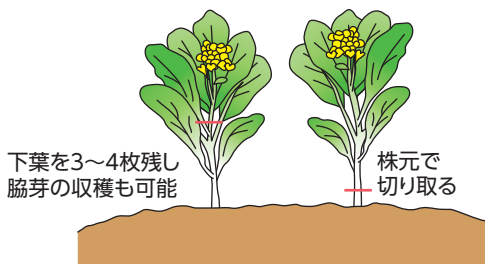


図3 収穫



サイシン

夏に強い中国野菜

ナバナに似た中国野菜

菜で、茎葉と花蕾からいを食べます。草丈30〜40cm

と小型で暑さに強く、高温でもとう

がよく立つので幅広い時期に栽培が

できます。茎は柔らかく、黄色い花を

付けます。ナバナと同様にさつとゆ

でておひたしや、油炒めにして食べ

ます。中間地では4月から9月まで



種まきができ、夏まきでは40日程度、春と秋まきでは60日程度で収穫期となります。

【品種】

中国には収穫までの生育日数の短い早生品種から、生育日数の長い晩生品種までいろいろありますが、日本では早生の品種が作られています。「早生系サイシン」(タキイ種苗)、「中国菜心」(サカタのタネ)などがあります。

【畑の準備】

あらかじめ土の酸性を改善するた

め、1平方m当たり苦土石灰100gをすき込んで耕しておきます。次に、種まきの1週間前に幅90cm程度の栽培床(ベッド)を作り、1平方m

当たり化成肥料(NPK各成分10%)

100gと堆肥2kgを全面に施し、

土と混ぜ、くわでベッドを平らにな

らします(図1)。

【種まき】

ベッドに直角に条間20〜25cmの種

まき溝を切ります。まき溝は木版を

土に押し付け、溝を付けると深さが

一定になります。じかま

きとし、まき溝に2〜3

cm間隔に筋まきします(図

2)。その後、べたがけ資

材を使えば、乾燥や強い

雨を防ぐと同時に害虫の

予防にも有効です。

【間引き】

1 回目は発芽後、子葉

が重なる株を間引き、2

回目

回目は本葉2〜3枚の頃に株間5cm程度、3 回目は本葉5〜6枚で株間15〜20cmに間引きます。

【追肥】

最後の間引き後に1平方m当たり

化成肥料50g程度の追肥をし、軽く

土寄せします。なお、畑が乾くときに

は、十分灌水かんすいします。

【病害虫の防除】

アブラムシには粘着くん液剤など

の気門封鎖剤で防除します。アオムシ、

コナガにはアファーム乳剤、トアロー

水和剤CTなどを使います。なお、べ

たがけ資材を除いた後は、防虫ネッ

トで被覆するのが良いでしょう。

【収穫】

とう立ち後、30cmくらいに伸び、1、

2花が咲き始めたら株元から切り

取って収穫します(図3)。なお、下葉

を3〜4枚残して切り取ると、脇芽

が伸びてくるので、さらに追肥して

長い間収穫できます。